

令和3年度「ふれあいファミリアミーティング」回答表【二井坂区】

No.	意見・要望	担当課	回答
1	<p>災害発生時には二井坂区住民は、「二井坂児童館」が緊急避難所となり、そして「中津小学校」が指定避難所として活用される。しかしながら、「二井坂児童館」は築35年が経ち雨漏りなどの老朽化が進んでいることから今後、深刻な問題になると予測される。「二井坂児童館」は、大型台風が来た場合や大地震が起きた場合に耐えられる構造になっているか疑問である。</p> <p>各行政区には自主防災組織があるが、防災資機材は十分に確保され、災害時にはいつでも使える状態になっているのだろうか？ 二井坂区の場合には、まだまだ不十分で、どのような備品をどのくらい確保すればよいのか模索している状況である。</p> <p>また、「中津小学校」の防災倉庫には備蓄品が収納されるが、スペースが狭く詰め込みすぎの状態であるため、必要な資機材をすぐに取り出せない。防災資機材がいくら揃っていても、いざというときに使える状態になっていない。夏場には防災倉庫の周りは雑草が生い茂り、防災倉庫から避難場所である体育館への通路も整理整頓がされていないため、十分に足元の安全性が確保できていない。このように中津小学校には各行政区（地域住民）、町職員および学校関係者等から構成される避難場所運営委員会があっても「避難所」は避難するのに満足できる状況になっていない。毎年、役員がかわり十分に引き継ぎができていないこともあるが、長年に渡ってこのような状況にあることは反省すべき点である。</p> <p>身近な避難所が上述のような状況にあるため、真剣な取り組みが必要であり、愛川町全体の避難所に関して次のことを提案したい。</p> <p>①専門家による避難所（建物・設備）の強度調査（風・雨・地震）と、補強工事の必要性についての見解を求めたい。</p> <p>②チェック機関を新設して防災施設・設備・資機材等が災害時にいつでも役立ち機能する状態にあるかどうか定期的に再確認する必要がある。不十分な場合は、指摘・指導を行い改善させる。</p>	<p>危機管理室 生涯学習課</p>	<p>①町では、平成30年に緊急避難場所と指定避難所の見直しを行い、新耐震基準をクリアしている施設のみ指定していません。このため、震度6強から震度7でも倒壊しない設計になっており、地震に対する補強工事は必要ないものと考えています。</p> <p>台風等の風雨に対する強度につきましては、主要構造部は被害を受けないものと考えていますが、屋根やトタン、窓ガラス等の老朽化による剥離・飛散といった被害も考えられることから、修繕が必要な事案が発生した場合は、各行政区と協議しながら修繕に努めてまいります。</p> <p>②防災施設・設備・資機材等を、いつでも使用できる状態に保つことは重要な課題であると認識していますので、備蓄スペースの確保について施設（学校等）と協議しながら、適切な防災物品等の維持管理ができるよう努めてまいります。</p> <p>また、施設等のチェックについては、定期的を開催している避難所運営委員会や訓練においてご意見等をいただき、これまでも改善等に努めているところでありますが、引き続き取り組みを行ってまいります。</p>

No.	意見・要望	担当課	回答
2	<p>現在、八菅橋周辺の中津川沿い河川敷でのオートキャンプの人出はたいへんなものです。何が起きても、起こっても不思議はありません。水道の地下水取水の水源地の万全のセキュリティをお願いしたい。現状ではこころもとない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧電流を流す ・ 柵を2重、3重にする 	水道事業所	<p>当該取水施設には、有刺鉄線およびエキスパンドフェンスが高さ1.7m以上で設置され、なおかつ水源自体はコンクリート構造物で防護されており、一般の方が水源に触れることは不可能です。また、365日間、毎日施設パトロールを行っております。引き続き安全な水の供給のために、セキュリティには万全を期してまいります。</p>